

# ねっとわーく

市町村のページ [特集：公民館と子どもたち]

- ・公民館と子どもたち …………… 福岡市花畑公民館
  - ・～自治公民館での子ども自習教室～  
…………… 岡垣町旭南区公民館
  - ・公民館と子どもたち  
…………… 大刀洗町中央公民館
  - ・「通学合宿は楽しいな」 …………… 豊前市横武中央公民館
- こちら県公連
- ・平成24年度福岡県公民館大会の報告

平成24年11月 公民館情報通巻124号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575 福岡市博多区東公園7-7  
福岡県教育庁教育企画部社会教育課内  
TEL 092-643-3887 FAX 092-643-3889

シリーズ：公民館と子どもたち



子ども料理教室：大刀洗町中央公民館

# 公民館と子どもたち

福岡市花畑公民館

花畑校区は人口 9,303 人、3,940 世帯、小学生 532 名の校区です。花畑公民館は小学校の隣にあり、休日の子どもの居場所づくりを根底に、気軽に立ち寄れる公民館として運営しています。

花畑校区では「子どもを真ん中に据えたまちづくり」をテーマに、子ども会育成連合会など子どもに関わる団体とのワークショップ等の学習会の中で「子どもの現状を知ること」「子どもを取り巻く状況や役員をされていて感じたこと・思ったこと」等について意見を出し合い、「子どもが豊かに育つ地域づくり」に必要なことは何か？を話し合いました。その結果、公民館が子どもたちの居場所になり、それを支えるのが地域の大人・親の役割ではないか？そのために公民館を中心に各団体が連携しながら事業を展開しています。

## 《花畑公民館での取り組み》

### その1 「花っ子クラブ」

平成24年度で4年目を迎える「花っ子クラブ」は1年間を通して、年齢の異なる集団を構成し、集団内の相互の影響による仲間づくりにより子どもの居場所作りを行います。保護者の方にも、時にはスタッフとしてお手伝い願っています。また、諸団体と共催での活動や地域指導者・ボランティアの方々にも協力を頂いています。活動を豊かにすれば、それだけ予算や、労力もかかりますが、皆で知恵を絞りながらの計画・実施はなかなか面白く思い出深い経験となっています。5、6年生は校区ソフト、サッカー、稽古ごとのため、会員数が少ないのが現状ですが、主に3、4年生は元気印全開です。



恒例の片縄山登山



そうめん流し

### その2 「キッズダンス講座」

校区には子ども会のジュニアリーダーとして活動している子もいますが、なかなか高学年女子の姿が見えてきません。そこで公民館で何か取り組みが出来れば！と考えました。中学校でもダンスの授業が導入される事と、花畑小学校卒業生の、若きダンスの指導者との出会いをきっかけに、特別講座「キッズダンス教室」を開催することになりました。

14回の講座ですが、5、6年生を対象に募集したところ、21名の希望者が集まりました。“仲間と心を一つに、音を楽しみながら、表現力やコミュニケーション力を高めよう”を目標にチーム「フラワーガールズ」がスタートしました。

発表の場として「花畑ふれあいまつり」（校区のまつり）と南区子ども文化祭」に出場します。



軽快なリズムにあわせて

〔お問い合わせ先〕福岡市花畑公民館 TEL/FAX (092)566-9061  
〒811-1356 福岡市南区花畑3丁目35-6

## ～ 自治公民館での子ども自習教室 ～

岡垣町旭南区公民館

学校の長期休暇中、旭南区公民館には、小学生達が文房具と水筒を持って集まってくる。ここでは、3人の男性が交代で子ども達を迎えている。区のみならず様々なところでボランティア活動をされているグループで、3人の名前の頭文字をとったグループ名はMAK'S。今回、MAK'Sが平成21年の夏休みから旭南区公民館で行っている「子ども自習教室」のある1日を紹介したい。



「子ども自習教室」は午前9時に始まる。朝の挨拶の後、まずは簡単な計算と漢字の書き取りからスタート。学習のとりかかりは、子ども達が「できる!」という気持ちから入れるよう工夫されている。それから自習を1時間行い、10時からは「算数教室」。

配られたのは正方形の木。子ども達は、サイコロの目の配置の決まりを習いながら、好きな色や柄をつけ自分のサイコロを作った。次に「 $\square$   $\square = \square$ 」の式が書かれた用紙が配られ、子ども達はサイコロを振り、「 $=$ 」の両側の「 $\square$ 」に出た目を書く。そして、その答えになるよう残りの「 $\square$ 」に数字と記号を書いていく。作られた式を解くのではなく、答えから式を作るフィンランド式の「算数教室」だった。

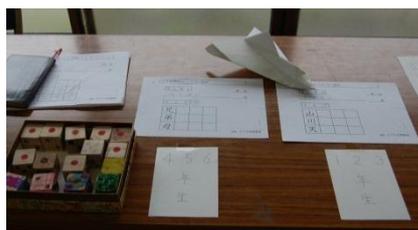


11時から始まったのは「工作教室」。今回は「イカヒコーキ」と「ロングプレーン」という紙ヒコーキ作りで、男女とも嬉々として紙を折り、走り回って飛ばしていた。そして、12時に子ども達はお礼の挨拶をして帰って行った。

今年度の自習教室は、春休みに9日、夏休みに28日、冬休みに10日計画されており、算数や工作以外にも、「考える力、表現する力」を伸ばす様々なプログラムが予定されている。自治区に加入している子どもだけでなく、他からもテスト的に受け入れOKとしている。公民館の冷暖房費や消耗品の購入等に年間5万円ほどの経費がかかるようだ。町から2万円の補助はあるが、残りはMAK'Sの持ち出しで運営されている。

長期休暇の午前中、旭南公民館は子ども達にとって友達と地域の人がいる場所となり、1日当たり10～20人の子ども達が自由に参加している。

自治公民館が子どもの楽しい居場所になっていることを、子ども達の「また明日!」の明るい声が示していた。



問い合わせ先：岡垣町教育委員会生涯学習課公民館係

TEL093-282-0162 (中央公民館内)

# 公民館と子どもたち

## 大刀洗町中央公民館

### 1. 大刀洗町の概要

(ア) 大刀洗町は、福岡県の中南域を占める筑後平野の北東部、筑後川の中流域北岸に位置します。総面積は 22.83 ㎢で、人口は約 15,000 人です。

(イ) 町の中央部には田園風景が広がり、米や、レタス・ほうれん草などの葉物の野菜を中心に様々な作物を栽培しています。

### 2. 大刀洗町中央公民館チャレンジ教室

(ア) 大刀洗町中央公民館チャレンジ教室は、学校の週 5 日制の実施に伴い、子どもの居場所作りと様々な体験活動の場として、大刀洗町中央公民館を拠点として始めました。町内 4 学区の児童を対象に、毎月第 2・第 4 土曜日に活動を行っています。

(イ) 身近なものを材料とした工作教室や施設の見学、自然体験を行うチャレンジキャンプなど様々な行事をとおして子どもの成長を支援しています。

(ウ) 特に本年度はチャレンジキャンプを強化し、2泊3日で実施しました。

(エ) 場所は長崎県小値賀町。野崎島での無人島体験と、小値賀島で地元の方のお宅にお世話になる「民泊体験」により、島の方々の生活を直に体験することが出来ました。



#### ○子ども料理教室

今年で 17 年目を迎えるこの教室は第 1・第 3 土曜日に実施しています。単に料理を作るだけではなく、食材をとおして「食」の大切さや重要性を学んでいます。

また、食生活改善推進会の方々にもご協力いただき、「食育」に関するお話や大人でも難しい魚のさばき方など、いろいろなことを体験しています。子どもたちからは、ここで身に付けたことを家庭でも実践しているという報告もあり、保護者にも好評の教室となっています。

#### ○今後の課題

少子高齢化やその他の要因により、児童は減少の傾向にあります。その中で多くの児童が参加できるように、ニーズに対応したプログラム作りが求められています。

また、各学校区で実施しているチャレンジ教室やアンビシャス広場の活動を活性化させることにより、その拠点を中央から「地域」にシフトした、地域ぐるみで子育てを行う体制作りが今後の重要な課題です。

#### 問い合わせ先

大刀洗町教育委員会 生涯学習課生涯学習係

電話 0942-77-2670

FAX 0942-77-2720

## 豊前市横武公民館「通学合宿は楽しいな」

福岡県東部に位置する豊前市には中央公民館をはじめ11の市立公民館があります。横武公民館は豊前市のほぼ中央に位置し、南に霊峰求菩提山、北に周防灘を望む自然豊かな中にあります。公民館から約200メートル東南に豊前市立横武小学校があります。平成24年度児童数71名の小さな学校ですが、漢学塾蔵春園があった教育地の伝統を受け継ぎ、のんびりと、しかし、しっかりと感性豊かな子どもたちが育っています。

横武校区では、子どもたちをのびのびしっかりと育てるため、学校・PTAと協力しながら青少年育成市民会議・子ども会連合会・体育協会などを中心に、区長会・女性の会・老人クラブなども協力しながら、さまざまな子ども行事を行っています。

その中で、最近始めたのが通学合宿です。子どもたちが自ら考え、きちんとした生活習慣を身につけるためとても大切な行事だと子ども会役員を中心に企画し、22年度から取り組み始めました。

平成23年度は、9月28日から10月1日までの3泊4日の日程で、横武公民館を会場に行われました。参加者は16名。子どもたちが自分たちで食事の用意をし、お風呂に入り、寝る準備をし、夜10時には布団に入ります。朝はお母さんに言われることなく自ら起き、そして学校へ行きます。もちろん、宿題も忘れません。確かに、行事計画や食事のメニューは保護者で立案しましたが、できるだけ大人が口を挟まないようにし、自ら進んですること心がけました。30日の夜には、地元の方々と食事や輪投げなどのゲームもしました。



ある子どもの感想です。「家ではできないことを自分たちでやることは大変だったけど、ちゃんとみんな協力できたからよかった。寝るとき、トランプしたりしゃべったりして楽しかった。この通学合宿は何もかもがあつという間だったからもうちょっと長くしてほしかった。」(一部略しています)

子どもたちはふだん学校や家庭では味わうことのできないものを学び、楽しんでくれたようです。横武の通学合宿はまだ始まったばかりで改善の余地はたくさんありますが、子どもたちが少しでも成長の糧を得ることができるよう努力していきたいと考えています。

(報告 横武公民館長)

## 第57回福岡県公民館大会報告

第57回福岡県公民館大会が、平成24年8月2日（木）、北九州市八幡市民会館におきまして、県内各地から公民館に関わっている1,022名（過去最多）の方々に参加いただき、盛大に開催することができました。

近年、核家族化や都市化の進展とともに、地域コミュニティが希薄化していると言われてい

しかし、東日本大震災によって共生・共助の精神の大切さ、それを

担うのは地域の拠点である公民館であるということが再確認できました。今こそこの失われつつある人と人の絆を深めて、元気の出るまちづくりをめざしていくことの大切さを改めて考えさせられているところです。

そこで、県内の公民館関係者・コミュニティ施設関係者が一堂に会し、公民館として果たすべき役割等について理解を深めることにより、今後の公民館活動の一層の充実・発展に資することを趣旨として、本大会を実施しました。

大会式典の表彰式では、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった42名の公民館役職員の方々と、公民館運営並びに事業の優秀な2館の公民館に対しまして、



表彰式の様子①

福岡県公民館連合会から表彰を行いました。表彰を受けられた皆様には、これまでの御尽力に対しまして、心から敬意を表します。



表彰式の様子②



開会行事の様子

「地域の絆を深め、活力あるコミュニティを創造する公民館の役割」と題して、東北芸術工科大学教授の松田道雄氏に講演をしていただきました。「駄菓子屋楽校」という自分の持ち味を見せ合い分かち合う集いを通して、新たなコミュニティの再生をねらう実践事例を中心にお話いただき、大変参考になりました。



講演（松田氏）の様子

また、「元気の出るまちづくり」と題して、大野城まどかぴあ館長・アナウンサーの林田スマ氏をコーディネーターとして、①愛媛県人間牧場主の若松進一氏、②佐賀県武雄市朝日公民館前館長の河内利大氏、③福岡県八女市ランドマーク代表の田原照久氏に御登壇いただき、インタビュー・ダイアログを行いました。①夕日をテーマにしたまちづくり、②高齢者野菜無人販売所の公民館設置、③地域イベントへのボランティア参画、といったユニークな実践を発表いただきながら、参加者の皆様の今後の実践に活かしていける内容となりました。

本大会を開催するに当たっては、特に、北九州市の皆様の御尽力により成功裡に終えることができました。



インタビュー・ダイアログの様子

来年度は、九州地区大会を兼ねた県大会となります。参加された皆様からいただいたアンケートの結果等も十分参考にさせていただき、さらなる大会運営の改善に努めてまいりますので、今後とも公民館活動の充実・振興のために御尽力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。